

働きやすく親しみやすい職場づくり

4つの事業で高付加価値な製品の開発・製造に取り組むこちらの企業。質の高い仕事を担う社員が健康で働きやすい職場になるよう、社員の声をとても大切にされています！

企業データ

- ・住所 西条市大新田272番地
- ・業種 研磨材・化学工業品・生活衣料・化成品の開発と製造
有機材料技術で未来を拓く、高付加価値創造企業
- ・社員数 360名（令和4年9月時点）

インタビュー対応(左から)

総務課 伊藤さん、総務本部 村上(七)さん、
総務課次長 村上さん



1 社員の声からよりよい職場づくりへ

現場で働く社員だからこそその視点を大切に、「改善提案制度」を設けています。この制度は、毎月社員の気づきや改善のための意見を募集し、改善内容によってポイントが付与されるしくみ。ポイント数によって半期に1回抽選券を配布し、抽選券をもっている社員は豪華賞品獲得のチャンスがある抽選会に参加できる制度を導入しています。

社員からの改善提案は年に150件ほどあり、例えば首を冷やすクールリングが提案され、社員に好評のアイテムとなりました。



改善提案表彰式の様子

今日から始める
健康づくり2022

2



(左) ファン付きベスト、(右) クールリング

熱中症ゼロの環境づくり

工場内は、製品の製造に影響しないように室温が管理されているため、暑くても温度が下げられない現状があります。そのため、涼しい休憩所に経口補水液が入った冷蔵庫を設置し、体調が悪くなる前に自分で休憩をとれる環境を整えています。さらに、クールリングやファン付きベスト、保冷剤入りのクールベストを個別に配布することで、作業中でも暑さを軽減できるよう工夫しています。

そのおかげで、ここ数年熱中症で倒れた社員はゼロです！

3

健診受診の声かけ

社員の定期健診と二次健診の受診を推進しています。全額会社負担で、就業時間内に健診をすることで、すべての社員が受診しやすいように調整しています。また、基本健診に加えてがん検診も実施しており、病気の早期発見に力を入れています。

二次健診は「どうせ行ってもセーフだろう」という気持ちから受診に足が向かない社員もいますが、直接声をかけることで去年は受診率100%となっています！

今後は、社員の健康への関心だけでなく、献血の協力などの取り組みを広げたいです。



献血の様子

今日から始める
健康づくり2022



社内オフィスの様子

4

相談しやすい関係性を築く

単身赴任の社員が多いことから、一人暮らしの社員の生活には気を配っています。特に、新型コロナウイルス感染症が流行し始めてからは、社内でのイベントや活動、個人での楽しみも制限されることが多いため、社員からはお酒の飲みすぎや食生活の乱れを話に聞くこともあります。

社員が生活面での困りごとを相談できる関係でいられるように、休んでいる社員に調子を伺う連絡を入れたり、職場で何気ない話をしたりと、コンタクトを大切にしています。

いい会社づくりに向けた取り組み

男性社員が多い職場であるため、女性社員が生理などの体調不良を訴えにくいところが課題だと考えています。男性社員が女性社員に代わって荷物を運んだり、レディファーストを心掛けたりと、自然と「女性に優しく」という共通認識をもつようになりました。今後はジェンダーにとらわれない思いやりがあふれる職場づくりを目標にしていきたいです。

POINT

- ✓社員の声を反映させるしくみ
- ✓熱中症ゼロの暑さ対策
- ✓健診受診を当たり前
- ✓社員の生活への視点

保健師MEMO

社員の声をすくい上げ、職場環境を改善していくしくみや、一人暮らしの社員を気にかけるような温かい関係性から、社員をととても大切にされていることが伝わりました。

今後の課題として、女性社員にとっての職場環境に目を向けられていたところが印象的で、取材にご対応いただいたお三方が和気あいあいと話されている様子から、「こんな会社なら働きやすいだろうなあ」と素直に感じた取材でした。

(取材：令和4年8月)

